

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		ナショナルバイオリソースプロジェクト		担当部署	研究振興局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成14年度～		担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 石井康彦	
会計区分		一般会計		施策名	Ⅸ-3 科学技術振興のための基盤の強化			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	知的基盤整備計画について(平成19年9月4日科学技術・学術審議会技術・研究基盤部会)、新たなライフサイエンス研究の構築と展開(平成21年12月ライフサイエンス委員会)、第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		<p>作製された実験用動植物等を中核機関に収集するとともに、厳格な管理体制の下で効率的な保存を行い、実験の再現性を担保するような遺伝的に安定した質の高い実験用動植物等を研究機関に提供することにより、ライフサイエンス研究の基盤を整備する。また、収集・保存・提供等に係る技術開発や、系統・特性情報、ゲノム配列等の遺伝子情報を付加し、実験用動植物等の独自性・先導性を高める。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>大学、研究機関等を対象に実施機関を公募し、実験用動植物等の収集・保存・提供体制を行う拠点の整備やバイオリソースの系統・特性情報、ゲノム配列等の整備、保存や品質管理の技術開発、バイオリソースの所在情報や遺伝情報のデータベースの構築を実施する。</p>						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	1,400	1,368	1,338	1,325	1,425
			補正予算	-	-	-	-	-
			繰越し等	-	-	▲9	9	-
			計	1,400	1,368	1,338	1,334	1,425
		執行額	1,400	1,368	1,329	-	-	
執行率(%)	100.0%	100.0%	99.3%	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		実験動物(ショウジョウバエ)の系統保存数(系統数)及び実験植物(イネ)の系統保存数(株数)	成果実績	系統数	38,490	41,832	42,182	-
			達成度	株数	16,195	16,675	17,967	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		機関数及び課題数	活動実績	機関数	35	34	35	-
			課題数	68	64	68	-	
単位当たり コスト		38(百万円/機関)		算出根拠	38(百万円/機関) =(平成22年度執行額:1,329百万円)/(実施機関数:35)			
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求				
	科学技術試験研究委託費		12百万円	10百万円				
	研究開発施設共用等促進費補助金		1,311百万円	1,413百万円				
	諸謝金		0.2百万円	0.2百万円				
	職員旅費		1.1百万円	1.1百万円				
	委員等旅費		0.6百万円	0.6百万円				
	庁費		0.2百万円	0.2百万円				
	計		1,325百万円	1,425百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○交付した本補助金については、設備等が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を厳格に実施することにより、支出先・用途を確認・把握している。</p> <p>○実績報告書の提出、研究機関へのサイトビジット等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について毎年度確認している。</p> <p>○バイオリソースの収集・保存・提供を中核拠点において一元的に行うことにより、効率的かつ適正な品質管理が図られるとともに、バイオリソースの利用に際してのアクセスも容易となっている。更には、高品質のバイオリソースを提供することにより再実験等の無駄を省くことで研究費をより有効に活用できる効果もある。</p> <p>○平成23年度の事業終了に向け、厳格に事後評価を行うとともに、バイオリソースの保存に係る運営コストを削減するための凍結保存等の技術開発や、一度途絶えると二度と復元できない貴重なバイオリソースを広域災害等から保護するためのバックアップの整備等を実施すべき。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、ライフサイエンス研究の基盤として、遺伝的に安定した質の高い実験用動植物の提供等を行う研究開発に関連した公募型事業であり、長期継続事業にあたる。</p> <p>2. 所見：この事業は、平成21年度に補助金化しており、単純な長期継続事業にはあたらないところであるが、平成21年度レビュー等の指摘を踏まえ、23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図ったことは評価するものの、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業の重点化、コスト縮減等に努めるべきである。また、東日本大震災の影響を受けて提供業務などが一時的に停止したことを踏まえ、今後、長期的な試料保存・提供の在り方について検討を行うべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>○平成23年度は第2期の最終年度であることから、これまでの進捗及び成果を踏まえ必要経費を精査し、事業の重点化を図ることで、概算要求に▲22百万円反映した。</p> <p>○一度途絶えると二度と復元できない貴重なバイオリソースを広域災害等から保護するためのバックアップの整備等を着実に実施するとともに、バイオリソースの保存・提供のあり方について検討していく。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p><政策評価書> ○政策評価書記載ページ：http://www.mext.go.jp/a_menu/hyoka/kekka/1291037.htm</p> <p><関連ホームページ等> ○事業のホームページ：http://www.nbrp.jp/</p>			

文部科学省

1, 329百万円

職員旅費・庁費 0.6百万円
外国旅費 0.3百万円
委員等旅費 0.4百万円 } を含む

作製された実験用動植物等を中核機関に収集し、また厳格な管理体制の下で効率的な保存を行い、実験の再現性を担保するような遺伝的に安定した質の高い実験用動植物等を研究機関に提供することにより、ライフサイエンス研究の基盤を整備する。
また、収集・保存・提供等に係る技術開発や、系統・特性情報、ゲノム配列等の遺伝子情報を付加し、実験用動植物等の独自性・先導性を高める。

[公募・補助]

A. ナショナルバイオリソースプロジェクト
: 1,318百万円

大学・独立行政法人等(全33機関)

実験用動植物等の収集・保存・提供体制を行う拠点の整備やバイオリソースの系統・特性情報、ゲノム配列等の整備、保存や品質管理の技術開発、バイオリソースの所在情報や遺伝情報のデータベースの構築を実施。

[公募・委託]

B. ナショナルバイオリソースプロジェクト支援事業
: 18百万円

独立行政法人(1機関)

ナショナルバイオリソースプロジェクトに係る公募、審査、交付等に関する事務手続き等を支援。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
業務実施費	雑役務費(データベースの維持管理費等)	74			
	消耗品費(試薬品等)	71			
	その他(諸謝金、会議開催費等)	29			
	電子計算機諸費(プログラム開発費等)	16			
	旅費(国内旅費、外国旅費)	14			
人件費	研究者及び研究補助者	85			
設備備品費	DNA自動分離装置	2			
計		292	計		0
B. 独立行政法人科学技術振興機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員	12.4			
業務実施費	会議等に係る借損料	1.9			
	消費税相当額	0.6			
	会議等に係る雑役務費	0.6			
	旅費(国内旅費)	0.4			
一般管理費		1.6			
計		18	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. ナショナルバイオリソースプロジェクト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構	イネ属遺伝子資源の収集・保存・提供と高度情報化、原核生物遺伝資源(大腸菌・枯草菌)の整備と活用、情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進 等	292	-	-
2	国立大学法人京都大学	ラットリソースの収集・保存・提供、遺伝子単離に向けたコムギの種子系統およびDNAリソースの保存・収集・配布、ヒトES細胞株の保存と分配 等	217	-	-
3	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	メダカ先導的リソース拠点形成、ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・供給 等	214	-	-
4	学校法人東京女子医科大学	線虫欠失変異体の収集・保存・提供	88	-	-
5	国立大学法人京都工芸 繊維大学	ショウジョウバエ遺伝資源の収集・総合的維持管理・提供	71	-	-
6	国立大学法人九州大学	カイコ遺伝子資源の収集・高品質化と効率的保存・供給体制の整備、アサガオリソースの収集・保存・提供 等	55	-	-
7	国立大学法人筑波大学	カタウレイボヤ等リソース拠点形成、細胞性粘菌リソースの整備と提供 等	49	-	-
8	国立大学法人東京大学	ネットアイツメガエルの収集・保存・提供(浅島系統およびナイジェリアン系統を中心としたネットアイツメガエルの収集・保存・提供)、カタウレイボヤ等リソース拠点形成(ニッポンウミシダ等の幼生・個体の収集・保存・提供) 等	40	-	-
9	国立大学法人宮崎大学	ヤコグサ・ダイズ遺伝資源の収集・保存・提供および諸特性の評価	27	-	-
10	独立行政法人理化学研究所	ゼブラフィッシュの収集・保存および提供、ラットリソースの収集・保存・提供(ラット凍結胚および精子のバックアップ保存) 等	27	-	-

※補助金事業

B. ナショナルバイオリソースプロジェクト支援事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人科学技術 振興機構	ナショナルバイオリソースプロジェクト事業の課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の支援事務	18	企画競争	-